

まもなく開局！NHK BS4K・NHK BS8K

《国際宇宙ステーション(ISS)から撮影した地球を8Kで放送！》

12/1(土)「いよいよスタート！BS4K・BS8K開局スペシャル」の中で放送

NASAがISSに8Kカメラを持ち込んで撮影したデータを8K映像化し、「ISSから撮影した地球」を12月1日の開局特番の中で放送する。

ISSに滞在している宇宙飛行士が、ことし8月から船内の日常や実験の様子、ISSから見た地球などを少しずつ撮影している。開局特番では、地球でハリケーンが発生している様子を鮮明に映した映像などを紹介する。

NHK
BS4K

◆映像詩 宮沢賢治 銀河への旅 ～慟哭の愛と祈り～

放送：＜前編＞12/15(土)午後7:30-9:00 ＜後編＞12/22(土)午後7:30-9:00

＜180分版＞1月2日(水)午後0:15-3:15

「宮沢賢治には、恋い焦がれるように慕った同い年の男性がいた」
数々の番組を手がけてきたディレクター今野勉が、新たな宮沢賢治像を浮き彫りにする意欲的なドキュメンタリー作品。「春と修羅」「銀河鉄道の夜」などの作品誕生の背景を、これまでと違った視点で読み解いていく。残された賢治の手紙、ノート、資料から、一人の男性との深い交流が明らかになる。また、岩手の美しい景色や再現ドラマを織り交ぜながら、賢治の心の風景にも迫る。案内役は、俳優・向井理。賢治の思索の行程を、体を張って追体験した。岩手山に夜通し登ったり、1月の凍てつく寒さの三陸海岸で、未明に星座を探すなどの旅を敢行した。

前編後編に分けての90分番組×2本と、イッキに見られる180分番組で放送する。



◆浮世絵EDO-LIFE 特別版 東海道五十三次

放送：12/29(土)午後6:30-7:29

風景画の傑作、歌川広重の『東海道五十三次』。でも、実は、“風景”ではなく“暮らし”を描いていた傑作だった！浮世絵の世界に入りこんで、クローズアップしてみると…道のど真ん中にやかんが？女性に羽交い締めにされる旅人？謎の天狗のおめんを背負う人？などなど…江戸時代の人々にとっては当たり前。でも、現代人には意外な事実の数々。江戸の旅と街道沿いの暮らしを、林家たい平さんが軽快な語り口でナビゲート！アメリカ・ボストン美術館が所蔵する、門外不出・名品ぞろいの「スポルディング・コレクション」の中から、東海道の日本橋から京までの55枚の絵でつづる、全編浮世絵！謎解きドキュメンタリー。4Kの高画質で、浮世絵の隅々まで見てみると、あなたの知らない「東海道五十三次」が見えてくる！明日、きっと誰かに話したくなる、江戸のリアルがここにある。

ナビゲーター：林家たい平 語り：伊東敏恵アナウンサー



◆刑事コロンボ

放送：12/31(月)～1月3日(木)午前8:00-

1968年にアメリカで放送され大ヒットした刑事ドラマの金字塔「刑事コロンボ」。放送開始50周年を迎え、35ミリ・オリジナル・フィルムから4Kにデジタル化、シリーズ全69作をBS4Kで順次放送予定。12月31日～1月3日には、一日2本ずつ計8本を先行放送する。

「刑事コロンボ」は、ヨレヨレのレインコートと葉巻、「うちのかみさんが…」が口癖のさえない主人公、そして冒頭から犯行シーンで始まるという、それまでの常識を覆したミステリー。僅かな手がかりから犯人を追いつめていく心理戦が見どころとなっている。

当時の放送順にならい、第1作「殺人処方箋」や、スピルバーグ演出の第3作「構想の死角」など旧シリーズ45作に続き、第69作「虚飾のオープニング・ナイト」など1989年からの新シリーズ24作も放送。日本語吹替は、あの「かみさんが…」でおなじみのふたり、小池朝雄(旧シリーズ)、石田太郎(新シリーズ)。

◆世界三大オーケストラの響き ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

放送：12/1(土)午後5:00-6:20

世界最高峰のオーケストラの本拠地で、クラシックの名曲中の名曲を収録。2.2マルチチャンネルの立体音響で、それぞれのホールの特性を忠実に再現。8KHDRの色彩とともに、現地の特等席に一瞬で旅をしたような感覚をお楽しみいただく。

・演奏：ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(ベートーベン「第九」)



◆マジックアワー ～ゴッホが描いた空の光～

放送：12/9(日)午後9:20-10:09

日没を迎える数分間、空に不思議な色が現われるマジックアワー。太陽が空に作りだす色にとりつかれ、37歳の生涯を閉じるまで「自分だけの色」を探し求めた画家ゴッホは、わずか10年の画家人生最期の2年で300枚を超す力作を描き出す。なぜゴッホは故郷から遠く離れた異国の地で、孤独を抱えながら色を探し続けなければならなかったのか。自ら命を絶つまで過ごした南仏の地を巡り、ゴッホが見つめた空の光を8K映像で探す。

◆カリヨン 時を超えるブルージュの鐘

放送：12/16(日)午後8:00-8:49

美しい中世の街並みが残るベルギー・ブルージュ。世界遺産にも登録されているこの街に立つと、ふと聞こえてくる澄んだ音色がある。街の中心にそびえる高さ83メートルの鐘楼、その47個の鐘を組み合わせた楽器カリヨンが奏でるメロディーである。ブルージュには、世界でここだけに受け継がれる伝統がある。それは500年にわたって専属のカリヨン演奏者がその音色を守ってきたことである。なぜブルージュでは、カリヨンが大切にされてきたのか？ 2018年9月に行われた専属演奏者の交代を記念したカリヨン・コンサート。その素晴らしい演奏を特等席で聞いているような臨場感で堪能しながら、8Kの超高精細映像で浮かび上がる美しい古都の情景を交え、ブルージュのカリヨンの秘密を探っていく音楽ドキュメンタリー。



◆シリーズ ツタンカーメンの秘宝

放送：1/1(火)-1/3(木)午後7:00-7:59

「20世紀最大の考古学的発見」とも呼ばれる、ツタンカーメンの秘宝。古代エジプトの若き王の墓から出現したのは、有名な「黄金のマスク」をはじめ、金・銀・宝石を散りばめた至宝の数々、実に4000点以上。それらを、エジプト政府の特別許可のもと、世界に先駆け8K高精細映像で撮影。古代文明の魅惑の財宝と、そこに秘められた物語に迫る、3回シリーズのドキュメンタリー。

第一回は、黄金のマスクや棺など、まばゆく輝く「黄金」の秘宝にスポットを当てる。世界帝国としての絶大な権力や、高度に発達した文明の実像を、最新研究をもとにひも解いていく。第二回は、豪華な装飾を施した玉座や王の身の回りの調度品から、ツタンカーメン王家の謎、家族の愛憎の物語に迫る。そして第三回は、およそ100年前にこの王墓を掘り当てた考古学者ハワード・カーターの興奮と感動を追い、知られざる財宝やミステリアスな遺物を堪能する王墓探検物語。



◆8K大相撲中継

放送：1/13(日)-1/27(日)午後4:00-6:00

大相撲初場所を8Kで生中継！取組前の力士の真剣な表情から、立ち合いのぶつかる音、張り手や歓声まで、まるで国技館で観戦しているような臨場感でお楽しみいただく。